

学 年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件 (36単位)		
系	科目群	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)			
コミュニケーション系 (演習系)	ゼミ	基礎ゼミ(2)	教養テーマゼミ(通年4)					
			教養探究ゼミ(2)					
	コンピュータ	コンピュータ処理論A(2)		コンピュータ処理論B(2)				
	スポーツ・健康	個人スポーツ・卓球 I(1) 個人スポーツ・硬式テニス I(1) 個人スポーツ・バドミントン I(1) 個人スポーツ・ゴルフ I(1) 個人スポーツ・フライングディスク I(1) ティームスポーツ・バレーボール I(1) ティームスポーツ・バスケットボール I(1) ティームスポーツ・ソフトボール I(1) ティームスポーツ・サッカー I(1) ティームスポーツ・カローリング I(1) フィットネス・トレーニング I(1) フィットネス・フィットネス I(1) フィットネス・エアロビクス I(1) シーズンスポーツA・ゴルフ(1) 障害者スポーツ A(1)		個人スポーツ・卓球 II(1) 個人スポーツ・硬式テニス II(1) 個人スポーツ・バドミントン II(1) 個人スポーツ・ゴルフ II(1) 個人スポーツ・フライングディスク II(1) ティームスポーツ・バレーボール II(1) ティームスポーツ・バスケットボール II(1) ティームスポーツ・ソフトボール II(1) ティームスポーツ・サッカー II(1) ティームスポーツ・カローリング II(1) フィットネス・トレーニング II(1) フィットネス・フィットネス II(1) フィットネス・エアロビクス II(1) シーズンスポーツB・スケート(1) 障害者スポーツ B(1)		2単位		
	外国語演習	英語	英語コミュニケーションIA(2) 英語コミュニケーションIB(2) メディア英語 A(2) 英語資格対策 I A(2) 英語資格対策 I B(2) 英語セミナー A(2)		英語コミュニケーションIIA(2) 英語コミュニケーションIIB(2) メディア英語 B(2) 英語資格対策 II A(2) 英語資格対策 II B(2) 英語セミナー B(2)		左の単位以外で 全学共通科目の いずれかから 18単位	
	ソフィア系 (講義系)	自然の探究	数学 A(2) 化学 A(2)	数学 B(2) 化学 B(2)	統計学 A(2) 地学 A(2)	統計学 B(2) 地学 B(2)	物理学 A(2) 物理学 B(2) 生物学 A(2) 生物学 B(2)	4単位
		人間の探究	哲学 A(2) 心理学(2) 西洋史 A(2)	哲学 B(2) 日本史 A(2) 西洋史 B(2)	倫理学 A(2) 日本史 B(2) 文学 A(2)	倫理学 B(2) 東洋史 A(2) 文学 B(2)	論理学 A(2) 論理学 B(2) 言語学 A(2) 言語学 B(2)	4単位
		社会の探究	日本国憲法(2) 経済学 A(2)	法学(2) 経済学 B(2)	政治学 A(2) 地理学 A(2)	政治学 B(2) 地理学 B(2)	社会学 A(2) 社会学 B(2) 教育学 A(2) 教育学 B(2)	4単位
		新領域	ジェンダー論A(2) 情報科学A(2)	ジェンダー論B(2) 情報科学B(2)	健康科学A(2) 平和論A(2)	健康科学B(2) 平和論B(2)	環境科学A(2) 職業と社会(2)	環境科学B(2) グローバル・メディア論(2)
			異文化研究(2)					
テーマ				教養テーマ講義A(2) 教養テーマ講義C(2)	教養テーマ講義B(2) 教養テーマ講義D(2)			
		中京大学を知る(2)						
		海外教養科目(4)						

表の卒業要件を超えて修得した単位はフロート単位として卒業所要単位に含めることができます。

6 全学共通科目について

問合せ先 教務課：名古屋 5号館1F

全学共通科目について

大学においては専門的知識を身に付けるだけでなく、幅広く深い教養と総合的な判断力を培うためのカリキュラムが用意されています。全学共通科目には多様な科目が置かれていますので、Webシラバスで各科目の内容を確認して科目を選択し、総合的な知識を身に付けるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いてください。

※履修登録は各自がALBOで行います。

※復学者・編転入学者の履修については、教務課窓口まで申し出てください。

不開講科目／履修者数制限

履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、各学期始めに授業担当教員と履修者との合意のうえで、その学期の授業を不開講とすることがあります。

また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合は、履修者数の制限を行うこともあります。初回の授業には必ず出席し、授業担当教員の説明をよく聞いてください。

基礎ゼミ／教養テーマゼミ／教養探究ゼミ

履修希望者は、初回の授業に必ず出席してください。

《履修上の注意》

- ①「基礎ゼミ」は1年生のみ履修登録できる科目です。
※2年生以上の再履修はできません。
- ②「教養テーマゼミ」は1～4年生が履修登録できる科目です。
- ③「教養探究ゼミ」は4年生の秋学期のみ履修登録できる科目です。

スポーツ・健康

スポーツ・健康科目(各1単位)の中から卒業所要単位として2単位を修得しなければなりません。

各学期を通して全ての科目が開講されているとは限りません。

《履修上の注意》

- ①各セメスターともに1科目(1単位)しか履修登録できません(シーズンスポーツを除く)。
- ②各スポーツ・健康科目は履修者数制限を行います。
- ③「I」は春学期、「II」は秋学期の開講科目となります。
- ④「I」と「II」は独立した科目ですが、「I」は基礎的な授業展開を行い、「II」は発展的な授業展開を行います。
したがって、「II」を履修登録する際には同一科目の「I」を修得しておくか、過去に当該科目(スポーツ)と同等の経験を有することが望まれます。
- ⑤「シーズンスポーツA・ゴルフ」は春学期の集中講義期間に行います。履修を希望する場合は、ALBOで履修登録を行った上で、4月上旬の「シーズンスポーツA・ゴルフ」ガイダンスに必ず出席してください。詳細は、3月下旬～4月上旬にALBOにてお知らせします。
「シーズンスポーツB・スケート」は豊田キャンパスにて行います(授業時間帯は豊田キャンパスの時間帯)。詳細は、3月下旬～4月上旬にALBOにてお知らせします。
※シーズンスポーツのみの履修登録も可能です。
※シーズンスポーツは個人スポーツ、チームスポーツ、フィットネスとの同時履修登録が可能です。
- ⑥障害者スポーツA・Bは、身体的な事情によって長期にわたり他のスポーツ種目の履修が困難と考えられる学生を対象とします。医療機関が発行する診断書が必要です。まず、授業担当教員と当該学生との間で日常生活活動能力の程度や実施可能な身体活動

について面談します。面談を通じて同意の得られた身体運動を中心に授業の展開方針を決めます。履修希望者は、教務課窓口まで申し出を行った後、授業担当教員に履修許可を得てください。

外国語演習(英語)

各科目のレベルと到達目標については下表を参照してください。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
英語コミュニケーションI	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語コミュニケーションII	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
メディア英語	新聞、雑誌、テレビなどのメディアで使われる英語の理解力向上をはかります。
英語資格対策I	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語資格対策II	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語セミナー	専門的な英語の運用能力向上を望む学生のニーズに応えるための上級者用集中クラスです。

《履修上の注意》

「英語コミュニケーションIA、IIA、IB、IIB」と「英語資格対策IA、IIA、IB、IIB」については、それぞれ以下の履修登録上の制限があります。

- ①春学期にIAとIIAを同時に履修登録することはできません。
- ②秋学期にIBとIIBを同時に履修登録することはできません。
- ③IIAを修得後、IAを履修登録することはできません。
- ④IIBを修得後、IBを履修登録することはできません。

自然の探究／人間の探究／社会の探究／新領域

「〇〇A」と「〇〇B」は独立した科目です。Webシラバスで各科目の内容を確認してください。

海外教養科目

- ①ISEP加盟大学、および中京大学海外交流協定大学へ交換留学生として選抜派遣された学生が留学先大学で修得した単位については、原則として全学共通科目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」として表記されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、国際教養学部が認めた科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定します。
- ③「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1または3単位などの分割認定も認めます。